

さぼサポ



第10号

札幌市自立支援協議会就労支援推進部会

発行日：令和6年3月29日

就労支援推進部会は、障がいのある方が一般企業で働く、また働き続けることができる地域を目指し、障がいのある方の就労等に係る現状や課題について、市内の事業所・企業等が集まり、定期的に協議している専門部会です。

<札幌市公式ホームページ> <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/tiikijiritusien/syurou2.html>

今年度の活動状況

定例会・学習会 運営委員会から

令和5年度就労支援推進部会定例会・学習会は6月9日（金）にみなみの杜高等支援学校で行われ、運営委員を含め約90名近い方が参加されました。学習会の今回のテーマは「各関係機関の機能について」ということで、北海道障害者職業センター、就業・生活支援センター及び就業・生活相談事業所（ナカポツ）、高等支援学校、ハローワークの各機関から、役割等について説明をしていただきました。

参加者のアンケートでは、今回は久しぶりの対面での定例会でもありましたので、会場の方がよいという意見や、「改めて、各関係機関の機能について学べた」「グループワークを通じての良い情報交換ができた」等、多くの感想をいただきました。また今後の部会の活動については、「同じ分野で気軽に集まる場が欲しい」「雇用している企業の話を知りたい」等の意見もございましたので、こうした意見も踏まえながら部会の活動を行ってまいります。

今後とも定例会を含め研修等へのご参加のほど、よろしく申し上げます。

文/就業・生活応援プラザとねっと 重泉



「JC-NET企業向けセミナーin札幌」 研修チームから

- 基礎講座：「認知機能の視点の視点から支援を考える」「支援・雇用現場で見られる課題へのアプローチ」がテーマの講義等
- 実践講座：「働きづらさを抱える方の課題と背景を探る」「課題解決のための面談技術」「合理的配慮と合意形成」がテーマの講義と演習

11月1日（水）・22日（水）の2日間で、企業の障がい者雇用担当者を対象に、「JC-NET企業向けセミナーin札幌」を開催しました。「働きづらさを抱える方の問題の背景を探る」という、身近なこととして受け止めることができるセミナーでした。

コミュニケーションの中でとらえ方や受け止め方にずれがあり、そのことが原因で、職場でトラブルが起きた場合、障がいや病気などの「疾病性」に目を向けがちになります。しかし、職場で行う対応は「いつ」「どのような場面で」「どのようなこと（トラブル）があった」という「事例性」を優先する視点が重要だということを学びました。

起きている問題についてご本人と共有し、今後の対応方法を一緒に考えていくことや、一緒に課題に取り組むために「職場の心理的安全性」を高めることがとても大切だと伺いました。

困り感を共有し、一緒に取り組んでいくために「職場の心理的安全性」を高めることを意識する姿勢を大切にしていきたいと感じました。

文/就業・生活応援プラザとねっと 大野

*その他、「JC-NET 就労支援基礎セミナーin札幌」を10月2日、3日に開催しています。

部会の研修情報の詳細は、<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/tiikijiritusien/syurou3.html>

「さぼコン～若手支援者の意見を聴く会」 広報チームから

今年度は数年振りに参集対面形式で令和6年2月21日（水）に「さぼコン～若手支援者の意見を聴く会」をキャリアバンク様の会場をお借りして開催することが出来ました。昨年度は参加者の就労支援経験年数を5年までに広げての募集でしたが、今年度は3年に戻して募集した結果、20名が参加されました。

事前にトークテーマを募り、事業所種別毎（就労移行支援・就労継続支援B型支援・障害者職業センター・ナカポツ）にグループ分けして実施し、どのグループも活発な意見交換がなされ、本会の目的でもある顔の見える関係づくり、横のつながりができたのではないかと感じました。参加者の皆様からは「日々の業務を行う中で感じていることや悩み等を関係機関の方たちと話せて良かった」「事業所種別毎だったため、共感できることが多く具体的にイメージでき勉強になった」との感想が聞かれ、終了後も時間の許す限り、挨拶や名刺交換をされている方々が多く、オンラインではない対面リアルの良さを改めて感じる機会にもなりました。

来年度も引き続き、参集しての開催ができることを願っております。

文/札幌障がい者就業・生活支援センターたすく 佐々木



* 広報チームの活動として、さぼサポの発行も行っていきます。

「ハローワーク管轄毎の連携強化に向けた会議」

今年度は、札幌市内3所のハローワーク（以下「Hw」）みどりのコーナー（専門援助部門）の統括職業指導官・主任就職促進指導官が異動されたことを受け、コロナ禍で中断していたHw管轄毎のHwとナカボツとの連携強化に向けた会議を再開しました。

- Hw札幌・とねと・たすく：年間4回参集開催
- Hw札幌北・からびな・のいける・たすく：毎月参集開催
- Hw札幌東・テラス・しんさっぽろ・たすく：毎月参集開催

各機関の支援体制やトピックスの他、求職者の連携支援方法（事例検討も交えながら）や企業支援（雇入れ相談対応）などを協議、検討しました。Hw札幌北では、企業アンケートの回答をもとに約20社への訪問に同行。雇入れに向けた各種提案や職場アセスメントを実施。Hw札幌東では、企業見学会や面接会実施に向け、全市の就労移行支援事業所への開催案内の周知活動など、協力して取り組みました。来年度は、Hw管轄毎に、就労系サービス事業所の皆さんも交えた学習機会等を実施していければと考えています。

文/札幌障がい者就業・生活支援センターたすく 松本

事業所さんぽ

10歩目

ひとりひとりの想いを大事に伴走する支援 多機能型事業所とらいわーく

今回伺ったのは、狸小路4丁目アーケード内キノシタビルにある多機能型事業所とらいわーくさんです。事業所に入ると、直ぐ目に留まる「とらいわーく」の看板。そしてマスコットキャラクターの“たぬっきー”が温かく出迎えてくれました。朝礼が始まって緊張感が漂う中でも、どこか雰囲気が柔らかいそんな印象を受けました。

午前にはPCトレーニングを中心に、箱折り作業や確定申告の領収書の処理、個々に応じたPCプログラム、“たぬっきー”のスタンプ編集等、ひとりひとりに合わせたプログラムが組まれています。また、実務プログラムやデザインプログラム、officeプログラム、就労に関するプログラム等「就職に直結するトレーニング」を通し、働く力を身につけるために必要な支援プログラムが組まれている事も魅力の一つと感じました。

取材中に伺った“利用者様が居心地のいい場所であってほしい”というお話からは、一般就労を実現し、自立した社会生活を送って欲しいという強いメッセージが伝わってきました。日々の支援で心掛けている事は、「支援者は利用者様の思いに対して選択肢を提案していく事。支援者はあくまでも伴走者であり、足りない部分はサポートする。最終的に自らの道標は利用者様が決めるとい事を大切にしている。」とのこと。ひとりひとりの気持ちを大切にしながら「できること」「好きなこと」を仕事にするために、アシストをする伴走者としての視点を大事に支援し、2023年度は、就労移行支援から13名、就労継続支援B型から3名の計16名が一般企業に就職されています。

利用者様の想いに寄り添いながら一般就労に向けて奔走する魅力ある事業所。ビル地下のB型事業所「caféべりい」には連日多くのお客様が来店し、自家製のレモネードも大好評です。

興味のある方、見学や体験を希望される方は、事前に申込みの上ご相談ください。

取材/障害福祉サービス事業所りあん 山田、就業・生活相談室しんさっぽろ 平方

- 住所：札幌市中央区南3条西4丁目16-2 3・4キノシタビル3F(狸小路4丁目アーケード内)
- TEL：011-206-1186 / FAX：011-251-5105
- E-mail：info@tryworksapporo.com
- HP：<http://tryworksapporo.com/>
- 定員：就労移行支援 10名 / 就労継続支援B型 10名
- スタッフ：9名（精神保健福祉士、社会福祉士）



札幌市 information

「障がい者就業体験実習事業」

札幌市では、就労支援機関等で就労訓練を受けている障がいのある方が一般企業等での就業にスムーズに移行できるよう、障がい者雇用に関心をもつ企業での就業体験実習（インターンシップ）を行っています。

障がいのある方にとっては、実際に企業で働くイメージづくりや就業上の課題整理に役立ちます。また、受入企業にとっては、実際の雇用に先立ち、障がい理解や受入体制づくりの参考になります。なお、受入企業には雇用義務や賃金・交通費等の負担金は発生しません。

就労支援機関、企業の皆さまは、ぜひ本事業をご活用ください。

毎年度、説明会と報告会で利用方法や事例紹介を行っていますので、ご参加ください。

<札幌市公式ホームページ>

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/syurou/practice-forum.html>

<お問合せ先>

(運営) 就業・生活応援プラザとねと TEL：011-640-2777



就労支援推進部会の活動に参加してみませんか？

就労支援推進部会では、随時、一緒に活動する構成員を募集しています。登録をご希望される市内の就労支援に関わる障がい福祉事業所や企業等の方は、札幌市公式ホームページで規約等をご確認のうえ、お申し込ください。

<札幌市公式ホームページ>

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/tiikijiritusien/syurou2.html>



さっぽろ市
02-F04-23-2731
R5-2-1630